

福井大学教育学部附属幼稚園・義務教育学校 令和5年度 教育研究集会

(第2次案内)

幼稚園研究主題

「つながりが育む学びの深まり」

幼稚園研究副題

「好きが広がり、世界をひらく」

義務教育学校研究主題

「自律的な学びへのイノベーション
探究するコミュニティを培う」

義務教育学校研究副題(5年次)

「共に学ぶプロセスをデザインする」

学校HP QRコード



期日 **令和5年6月16日(金)**

会場 福井大学教育学部附属幼稚園・義務教育学校

主催／福井大学教育学部附属幼稚園・義務教育学校
後援／福井県教育委員会 福井市教育委員会
福井県小学校教育研究会 福井県中学校教育研究会

附属義務教育学校

受付	児童生徒による オリエンテーション	公開授業Ⅰ/語り合い	公開授業Ⅱ/語り合い	昼食	分科会			
8:10	8:50	9:45	10:00	10:55	11:10	12:10	13:00	14:15

公開授業Ⅰ（10:00～10:45/50）児童生徒との語り合い（10:45/50～10:55/11:00）

教科/学級/授業者	主題 / 「単元・題材」 / めざす授業
国語 6年2組 授業者：野阪 友美	視点が変わると見えてくるものって？ 「帰り道」 「律」と「周也」、二人にとって今日の帰り道とはどのようなものであったのだろうか。それぞれの視点で描かれた物語を読み比べながら、二人のストーリーが一つに重なっていく。仲間と語り合いながら、視点を変えて読むことによって、新たな「読み」の面白さを味わう授業。
社会 4年1組 授業者：青柳 宏治	無くなったらどうする？～優先すべきインフラとは～ 「住みよいくらしをつくる」 優先して維持すべきインフラはどれだろう？生活の中に当たり前にあるインフラのしくみや工夫を明らかにしながら、優先すべきものを考えていく。様々な考えや異なる立場の意見を取り入れながら、住みよいくらしに欠かせないインフラと自分の関わり方を考えていく授業。
算数 2年1組 授業者：堀 歩美	シャボン玉をつくろう 「かさ」 ○○なシャボン玉を作りたい。いくつかの液体を混ぜて、自分たちが目指す理想のシャボン玉を作るため、試行錯誤する子供たち。自慢のシャボン液の作り方を伝えるために、単位の必要性に気付く授業。
理科 4年2組 授業者：川崎 耕介	飛び出せ！ツバメ調査隊！ 「あたたかくなると」 ツバメは1年をどのように過ごしているのだろうか。ツバメに寄り添い、ツバメの生活コミュニティの変化の観察や生息域の分布調査を通して主題に迫っていく。ツバメの生活から季節の変化を感じると共に、ツバメと人間との共生について自然に対する価値観を広げていく授業。
音楽 1年2組 授業者：大黒 朋恵	きこえたおとをこえてあらわそう 「おとをさがしてあそぼう」 一日の学校生活では、どんな音が聞こえるだろう。子供たちは、耳を澄まして様々な音を見つけ、見つけた音を友達と試行錯誤しながら一日の学校生活を声で表現していく。声で表現する活動を通して、音を声で表す面白さを味わうとともに、友達とつながるよさを感じることができる授業。
造形 3年1組 授業者：浅井 綾子	体いっぱいにしぜんをかんじて 「わたしの6月の絵」 「み近な自然の形・色」 今の季節から何を感じるかな？身の回りにあるものを見つめたり体で感じたりして、自分のイメージを再認識し、色や形で探っていく。自分や友達の季節のイメージを共有する中で、違いや似ているところを見つけるおもしろさを味わい、自然を通して色や形の感じ方を広げていく授業。
体育 2年2組 授業者：市村 拓也	お宝を探し出せ！蹴(しゅう)ティングゲーム 「ゲーム(ボールゲーム)」 「お宝をかくし持つモンスターはどこだ！」子供たちはモンスターを倒すため、狙ったところに、勢いのあるボールを蹴ることができるように仲間と共に技を磨く。そのプロセスを通して、蹴動作の粗形態の獲得と協働探究の楽しさを実感していく授業。
外国語 6年1組 授業者：布目 康裕	設立! FUZOKUツーリスト～おススメ旅行プランを発信しよう～ 「NEW HORIZON Unit3 Let's go to Italy.」 海外から見た日本の魅力って？外国人観光客が来日する機会が戻ってきた昨今、観光客の視点で、おススメの旅行プランを考える。自分の経験も振り返り、他者との英語でのやり取りを通して、表現の良さやプランの違いを認め合いながら、英語で伝わる喜びを実感することができる授業。
家庭 8年A組 授業者：八田 玲子	家族と住まい 安心できる 毎日を 「住生活 安全な住まいで安全な暮らし」 毎日を安心して過ごすって、どんな暮らし方だろう？身の周りで起こる危険や避難生活と日頃の生活を比べ、暮らし方について探っていく。危険や災害に備えた日常について考え、実践につなげる授業。

児童生徒との語り合いについて（各教科の授業後10分間）

授業で見取ったことを、直接児童生徒と語り合い、お互いの学びを深める時間として設定しています。ぜひ授業を受けていた児童生徒と教科の学びについて語り合ってください。

公開授業Ⅱ (11:10~12:00) 生徒との語り合い (12:00~12:10)

教科/学級/授業者	主題 / 「単元・題材」 / めざす授業
国語 7年A組 授業者：野尻 麻香	スピノフ朗読劇、開演！ 「星の花が降るころに」 「私」以外を主人公にしたら、どんな新しい物語が見えてくるだろう。人物描写や情景描写を根拠に物語を別視点から捉え直し、さらにグループで対話しながら朗読劇を創作することで自分たちの解釈を表現する。協働でシナリオを創作することで、互いの読みや人物像を交流しながら主体的に読みを深めていく授業。
社会 8年B組 授業者：北島 正也	人口減少時代の日本を救え！ 「日本の地域的特色と地域区分」 人口減少が進む日本に明るい未来は訪れるのだろうか？人口減少問題の原因を探る中で、日本の地域的特色を明らかにし、日本が抱える数々の課題とその解決可能性を考える。人口問題を切り口に地域の課題について考察する授業。
数学 9年C組 授業者：藤川 洋平	最高のリレーを探究しよう 「二次関数」 リレーで勝ちたい！そのためにできることは走力やバトンパスの技術の向上以外にないのだろうか。流れるようなバトンパスを成功させるために、数学的な視点から「走り」について考えていく。協働で人の走りを見える化し、新たな視点からリレーを探究していく授業。
理科 9年A組 授業者：佐々木 庸介	歩く速さ世界一を目指せ！ 「物体の運動」 大阪の人の歩く速さは世界で最も速いらしいが、自分たちの速さはどのくらいで、どうしたら大阪の人より速く歩けるのだろう。子供たちはグラフや表を用いて計測結果を分析し、加速時間を確保したり力の加え方を変えたりして、速く歩く方法を探究していく。自身からデータを取り、科学的な思考によって日常生活を変えていく授業。
音楽 8年A組 授業者：遠藤 利佳	きみは何役？—「ヤクアテ」ゲームで音楽を感じ取ろう！— 「即興演奏」 「即興演奏」とは、何だろうか。子供たちは声や楽器などを使い、これまでのリズム活動や音楽づくりでの学びを生かしながら、テーマに沿って仲間と即興演奏を行う。演奏をクラス全体で味わい、様々な表現を認め合うなかで、自身の音楽観を広げていく授業。
美術 8年C組 授業者：坂居 澄美	学校にパブリックアートがあったら 「暮らしに息づくパブリックアート」 暮らしの中に溶け込んでいるパブリックアートの面白さってどこにあるのだろう。校内にある身近な風景に目を向け、どんなアートで彩られると豊かな気持ちになるか想像してみよう。その作品たちが風景と融合した景観を味わい、美術と社会がつながる楽しさを感じとる授業。
保健体育 7年B組 授業者：田中 孝治	これが7B流！ハードル走の極め方 「ハードル走」 タイムを縮めるためにはどうすれば良いだろう。スタートからゴールまで、解決のカギになりそうなポイントを見つけ、チームで徹底的に分析。メンバーの合計タイム短縮を目指す中で、ハードル走という種目の特性を探っていく授業。
英語 9年B組 授業者：河合 創	How should we live with animals? 「Unit 3 Animals on the Red List」 絶滅危惧種の動物たちは守るべき存在なのだろうか？人間の生産活動と動物の種の保全という矛盾について考えながら、人と動物の共生について考えていく。世界各地のデータを整理し、英語での議論を重ねながら、思考を再構成する授業。
技術 7年C組 授業者：高井 茂嘉	県産材を使って、附属の校舎に必要な製品をDIYしよう 学校生活で足りないものはないだろうか？子供たちから附属の校舎に必要な製品を調査して、周りからの要望に応じて製作していく。県産材の良さを味わいながら、アイデアを形に変える楽しさや、協働で作り上げることの喜びを実感する授業。

分科会 (13:00~14:15)

①各教科の分科会 会場：義務教育学校の各教室

前期課程と後期課程の公開授業における子供たちの学びの見取り、子供たちとの語り合いをもとに協議していきます。教科の目指す本質的な学びについて語り合いながら、義務教育課程における協働探究の在り方について考えていきます。

②幼稚園の分科会 会場：幼稚園

実践を通した3・4・5歳児の幼稚園での育ちについて協議していきます。
分科会は3歳児・4歳児・5歳児合同で行います。

附属幼稚園

受付	オリエンテーション	公開保育	公開授業Ⅱの参観	昼食	分科会 (3,4,5歳児合同)	
8:30	8:50	9:00	10:55	12:10	13:00	14:15

保育者	主題 / めざすあそび
あそび 年少/年中/年長 保育者:前田 祐子 藤井 衣利子 金剛 智恵子 村橋 義人 上田 晴之 ツシマ由佳	年少 (3歳児) はやくあそびたい 一人一人が安心して過ごせる環境の中で、新たなもの・こと・人・遊びに出会い、心地よさを感じながら遊びを楽しんでいく。いろいろな遊びに出会い、自分の好きな遊びを見つけていくには?教師に自分の思いを伝えたり、友達と一緒に遊んだりしながら喜んで園生活を送ることを目指す。 年中 (4歳児) いっしょにあそぼ 好きな遊びを楽しむ中で、友達や教師、様々な素材などの、自分を取り巻く環境に自ら関わっていく。関わりの中で、自分や友達に思いがあることに気付き、また他者との思いの違いにも気付いていくには?いろいろな思いに触れながら、友達と一緒に遊び、楽しむことを目指す。 年長 (5歳時) ちからをだして 積極的にいろいろな遊びに取り組む中で、自分なりのめあてをもって挑戦したり、友達と協力したりしながら遊び込んでいく。その中でもの・ことの特徴や面白さに気付き、試したり工夫したりしていくには?遊びの中で感覚をひらき、自己を発揮していくことを目指す。

全体会・シンポジウム (14:30~16:30)

テーマ「共に学び多様性を発揮する教育の未来 ～PBLが拓くインクルーシブな学び～」

シンポジスト

秋田 喜代美 氏

(学習院大学文学部 教授)

鹿毛 雅治 氏

(慶應義塾大学教職課程センター 教授)

森川 禎彦

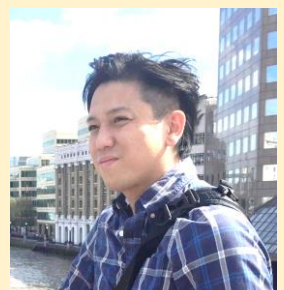
(福井大学連合教職大学院 客員准教授
附属義務教育学校 統括研究主任)



秋田 喜代美 氏



鹿毛 雅治 氏



木村 優 氏

コーディネーター

木村 優 氏

(福井大学連合教職大学院研究科長 教授)

オンライン生配信決定!

オンライン (Zoom) にてシンポジウムの様子を生配信します。ご希望の方は下記QRコードよりお申し込みください。後日、ID、パスワード等をメールにてご連絡いたします。

すべての子供たちが多様性を発揮する教育を実現するためにはどうすれば良いのか。本校園が長年大切にしてきた学びであるPBL(Project Based Learning)がその未来を拓いていく鍵になると考えています。人々が互いに多様な在り方を認め合える共生社会の実現のために、ご参加頂いた皆様と子供の学びの姿を語り合う中で、これからの教育はどうあるべきかを考えていきたいと思ひます。

参加費 1,000円 (資料代)

※参加される方は、ご昼食を各自でご準備ください。

※申し込み方法: 右のQRコードより必要事項をご記入の上、

令和5年6月2日 (金) までにお申し込みください。

問合せ先: 担当: 森川 (義務教育学校)・上田 (幼稚園)

〒910-0015 福井県福井市二の宮4丁目45-1 Email: molmol3@u-fukui.ac.jp

tel 0776(22)6985 fax 0776(22)6703 HP: <http://www.f-edu.u-fukui.ac.jp/~fuzoku-g/>

申し込み用 QRコード

